

令和5年度 第1回 匝瑳市食育推進協議会 会議録

会議の概要

開催日時	令和6年2月22日(木) 14時から15時30分まで		
開催場所	匝瑳市民ふれあいセンター 2階 視聴覚室		
出席者の氏名	委員	角田直彦(匝瑳市校長会) 大野裕子(匝瑳市保健推進委員会 会長) 大木万智子(匝瑳市農業振興会朝市組合 副組合長) 椎名由利(八日市場ふるさと交流協会 会長)	新井佳余子(匝瑳市商工会女性部 部長) 平野元康(匝瑳市商工会青年部 部長) 依知川和子(ちばみどり農業協同組合 営農センターそうさ営農振興) 木内三男(海匝農業事務所 企画振興課長) 小川豊(健康管理課長) 大木恒一(農林水産課長)
	代理人		
	事務局	林等(農林水産課 副主幹)	渡辺絢香(農林水産課 主事) 鳴海千晴(農林水産課 副主査)
	欠席委員	佐藤晴彦(一般社団法人旭匝瑳医師会 理事) 伊能 和代(匝瑳市PTA連絡協議会 副会長)	浪川 健治(学校教育課長)
	議題	(1) 会長及び副会長の選出について (2) 数値目標の達成状況について (3) 関係機関からの報告・意見交換について (4) その他	
	配付資料	令和5年度 第1回匝瑳市食育推進協議会 会議次第 【資料1】匝瑳市食育推進協議会名簿 【資料2】匝瑳市食育推進協議会規則 【資料3】食育推進計画補足資料 【資料4】第3次匝瑳市食育推進計画 数値目標の達成状況について 【資料5】令和4年度栄養士学校訪問記録 【資料6】令和5年度 ちばを食べよう!ちばの食育月間について 【資料7】第4次千葉県食育推進計画(概要版) 【資料8】第3次匝瑳市食育推進計画 【資料9】匝瑳市の野菜の教科書「ねぎ」(仮)	

議事要旨

発言者	発言要旨
事務局	開会
事務局	開会挨拶
事務局	出席委員の紹介、会議の出席状況の報告、会の成立の報告 会長が選出されるまでの間は事務局が進行する旨説明
事務局	資料確認 議題（１）会長及び副会長の選出について 互選による選出であるが、各委員からの推薦がなく、事務局から、会長に「匝瑳市校長会 角田委員」、副会長に「匝瑳市農業振興会朝市組合 大木委員」を推薦し、了承された。
事務局	匝瑳市食育推進協議会規則により、会長が議長を務めることになる。角田会長に議事進行をお願いする。
会 長	議題（２）数値目標の達成状況について 事務局の説明を求める。
事務局	数値目標の達成状況について、第３次匝瑳市食育推進計画の令和４年度末の状況を説明
会 長	意見・質問あるか。
委 員	学校における食育の推進について、小学校や中学校における調理実習はコロナ禍においては殆ど実施できなかったと聞いているがどうか。
事務局	資料の回数は実際に行われたものを記載している。
委 員	実施状況は学校によりばらつきがあったと聞いている。頻繁に行っている学校もあれば、殆ど実施しなかった学校もあるようだ。
会 長	コロナの時期は開催できていなかったと思う。令和５年度はコロナが５類になったため、小学校でも開催できている。自分たちで育てた野菜を使ってカレーを作るといったこともできるようになった。
委 員	地産地消の推進において、市民病院の実績が１品である理由は。
事務局	把握していない。会議後に確認する。

発言者	発言要旨
委員	<p>病院には若い人や年配の方も入院していると思う。市民の方が利用する病院で匝瑳市で作られたものが食べられないのはおかしいと思う。</p> <p>また、農業体験や料理教室など、食育のテーマを取り入れた授業・学習の回数は96回で達成となっているが、郷土料理や地元農水産物を使った料理教室の開催は年12回の目標に対して2回しか開催できていない。学校で料理教室を行っているのであれば、そこで地元の農産物を使っても良いのではないか。この二つの項目を分ける意味がわからない。分けるのであれば、月に1回の開催を行うためのロードマップを作って参加者に周知する必要があると思う。</p>
委員	<p>年2回の開催となった料理教室とは、家庭教育学級の料理教室ではないか。これはコロナ期間の開催は難しかった経緯がある。コロナが5類になった今ならば12回の目標は達成できるのではないか。</p>
会長	<p>小中学校での調理実習の開催の有無は各学校の裁量に任されている。計画の時点ではコロナ禍真ただ中であつたため、調理実習の開催は自粛されていたのだと思う。</p> <p>今まではコロナの影響で活動を自粛せざるを得なかった背景があるが、これからは活動も再開されていくと考えられるため、事務局で実績を確認していただき、次回の会議に臨めればと思う。</p>
委員	<p>できると思うんだよねというふわっとした目標で達成できるのか。ロードマップを作って目標へのアプローチを明確にする必要があると思う。データとして残すことで、次の世代がやり方を見直すきっかけにもなると考える。</p>
委員	<p>数値目標の設定根拠は。</p>
事務局	<p>第2次食育推進計画から引き継いだものである。</p>
会長	<p>令和4年度実績として把握されているものは資料に記載があり、無いものはアンケート実施により調査する項目である。委員から話があったように、病院での地元農水産物の利用実績が1品である点については、今後事務局で原因を調査し、改善していくという理解でよいか。</p>
事務局	<p>その通り対応していく。</p>
会長	<p>他にあるか。(なし)</p> <p>議題3 関係機関からの報告・意見交換について 事務局の説明を求める。</p>
事務局	<p>(資料5) 栄養士学校訪問で活用しているDVD教材を視聴(15分程度)</p> <p>その他関係機関の取り組みについて説明。</p> <p>匝瑳市産農産物の認知度向上・販売促進を図るため、(資料9) 匝瑳市の野菜の教科書「ねぎ」(仮)を共有</p>

発言者	発言要旨
会 長	せつかくの機会ですので、各委員が所属する機関の活動について報告をお願いします。
委 員	<p>健康管理課では、地域における食育の実践として、離乳食教室や幼児食育教室を行っている。家庭教育学級の位置づけである親子料理教室については、コロナの関係で令和5年度は中止とした。</p> <p>食育推進のための人材育成支援としては、市町村保険推進対策事業に取り組んでおり、また各種検診の際には、保健師や栄養士、歯科衛生士による相談も実施している。</p> <p>健康マイレージ事業も引き続き行っている。</p>
会 長	他にあるか。
委 員	市の食育推進事業である、さつまいも収穫体験の際に地元農産物を使ったお弁当を作っているが、参加者の方に説明するところまで手が届いていないため、今後は市と協力して実現できればと思っている。
会 長	楽しく食べてくれればそれだけで食育だと思いますが、さらに上を目指して頑張ってもらいたい。他にありますか。
委 員	保健推進員は匝瑳市で現在 168 名が活動している。コロナ前は調理実習等も行っていたが、活動が自粛を求められる中で、食品の塩分濃度を測定して献立に役立てるための教材を作成した。今後はこれを基に質の高い指導ができると思う。
会 長	<p>健康意識の高い人、低い人がいる中で、地域の方々へ満遍なく取組を周知することが課題であると思う。</p> <p>他にあるか。</p>
委 員	DVD 教材は現在も活用しているものか
事務局	教材はコロナの影響で学校に訪問できなかつた際に活用していたものである。現在は栄養士が直接指導を行っているため活用していない。訪問できない特別な事情があれば活用する場合もある。
委 員	<p>教材の内容について、視聴しているうちに飽きてしまった。</p> <p>子どもが食いつきそうなストーリー性が必要だと思う。給食センターに行ってみたくするような映像にできれば、子どもたちも食に向き合ってくれると思う。</p>
会 長	他にあるか。
委 員	海匠農業事務所管内の落花生栽培体験について、管内 14 校で開催し、うち匝瑳市は 5 校であった。子どもたちにも好評であるため、引き続き取り組んでいきたい。
会 長	<p>落花生が育っていく姿を間近で見られるのは貴重な体験であり、今後も続けていければと思う。</p> <p>他にあるか。(なし)</p>

発言者	発言要旨
会 長	議題（４）その他について、何かあるか。
事務局	情報公開のため市ホームページで会議録を公表することについて説明
会 長	他に無いようなので、全ての議題の審議を終了とし、議長を降ろさせていただく。
事務局	本日頂いた意見については、市の食育推進の参考とさせていただく。本日は以上です。ありがとうございました。
	閉会